

経済経営学会学生研究助成金報告書

2025年3月17日

壺内ゼミ2年生 浅井惣之介、児嶋暖大、末峰暖人

1 専門ゼミナールの目的

本ゼミは株式市場や株価変動を分析するゼミであり、アクティブラーニングとして日本経済新聞社、野村証券が共催するビジネスコンテスト（STOCK リーグ）に出場することとしている。このコンテストでは自分たちが作った金融商品の収益性や社会への貢献性などを競い合う。そのため、2年生では企業数値（財務諸表や損益計算書、キャッシュフロー計算書）の見方を学習し、これら会計情報を使った企業分析や統計分析の能力を高めていくこととなる。そして、3年生前期はビジネスコンテスト（野村証券と日本経済新聞が主催するストックリーグ）のテーマを決め、最適ポートフォリオを組むために、テーマに沿った企業のピックアップ、それら企業の財務分析及びポートフォリオのリスク・リターン分析、投資シミュレーションを行う。そしてこれら一連の行をレポートとしてまとめ、コンテストに提出し、自分たちが作った商品やレポートの優劣を他大学と競い合うこととなる。

2 ゼミ研修旅行（2025年2月27～28日：日本取引所グループ大阪取引所の見学他）の目的

STOCK リーグ提出のレポート作成のモチベーションを高めるためと、チームワークを養うことを目的にゼミ研修として春休み、日本取引所グループ大阪取引所の見学を行った。本学会の助成金はこの宿泊費に充てられた。大阪取引所ではかつて取引所があった場所で取引所の社員から株式取引などについてレクチャーをしていただいた。これらは STOCK リーグ参加へのモチベーションとなる。また、STOCK リーグでは1チーム4～5名が企業分析や企業インタビューを分担

して行わなければならない。これらを行うにはチーム内で計画、準備、作業分担、協力が不可欠となる。自分たちで旅行計画の立案、日程調整や行先調整をすることがこれら作業をスムーズにおこなう基礎となる。最後に、大学生活の中で友人と楽しむこともこの旅行の目的であった。以下は学生による研修先のレポートである。

3 旅行計画について（末峰暖人）

私たち壺内ゼミナールでは、2/27～28の2日間にかけて金融や証券の知識・理解、ゼミ生同士の親睦を深めることを目的としてゼミ旅行を実施した。ゼミ設立後初めてのゼミ旅行ということもあり、計画は行き先の決定等に時間を要すると判断したため10月前半から立て始めた。行き先について、旅行は前提として金融や証券に関する施設（取引所）見学を伴うものであったため、取引所とりわけ規模の大きい取引所で見学を行うと考慮した結果、東京か大阪のどちらかとなった。ここで費用や所要時間等を考慮した結果、大阪に位置する取引所のほうがいいという結論に至り、行き先を大阪に決定した。

1日目は日本取引所グループ（JPX）の大阪取引所でのセミナー受講や施設見学を、2日目は私たちの生活圏である東海地方では感じることでできない関西地方の文化や風土をじかに感じるためにグループ別に大阪や京都、神戸等を観光するという計画を立てた。

ゼミ旅行を終え、最終的に今後出場するSTOCKリーグに必要な知識やチーム力等を身に付けることができたと感じている。しかし一方で初めてのゼミ旅行ということもあり、行き先や移動手段の決定に時間を要したこと、そして何よりゼミ生への情報伝達がうまくできなかったことが課題として挙げられる。そのためゼミ生には多々迷惑をかけてしまい、反省の念でいっぱいである。次年度以降実施されるゼミ旅行が円滑に行われ、かつ学習・楽しさの両面で充実したものに

なるよう今回のゼミ旅行で得た反省を積極的に活かしたい。

4 日本取引所グループ大阪取引所の見学（浅井惣之介）

私たちは、ゼミ研修旅行の1日目に日本取引所グループ大阪取引所を見学した。見学の際、取引所の社員から株式取引や取引所の役割についてのレクチャーを受けた。この1年間、専門ゼミナールでの活動として企業数値の見方を学習し、企業分析の能力を向上させてきたが、今回の研修において取引所でのよりリアルな話を伺うことにより、これまでのゼミ活動では得られなかった知識が身に付き、見識を広げるための足掛かりとなったと実感している。話を伺った中で、「株式投資では正しい勉強方法を身に付けることが大切」という言葉が特に印象に残っている。ゼミ活動では今後、日本経済新聞社、野村證券が共催するビジネスコンテスト（STOCKリーグ）への出場を予定している。STOCKリーグ出場に向け、企業の財務分析及びポートフォリオのリスク・リターン分析、投資シミュレーションといったような事前準備を重ね、ゼミ生全員で協力し、時には教員にご教授いただきながら、株式投資に関する正しい勉強方法を身に付けていきたいと思う。

5 グループ別行動に関する報告（児嶋暖大）

今回のゼミ研修旅行では、一日目に日本取引所グループ大阪取引所の見学を行い、二日目はグループ別行動を行った。グループ別行動は、仲の良い人や行き先が同じ人など学生自身で自由にグループを決め、大阪や京都、神戸を中心に目的地を決めた。活動時間は約7時間で17時30分にJR大阪駅に集合とした。

私のグループは、大阪を中心に行動をした。最初の目的地である道頓堀は多くの人で賑わって

おり、飲食やショッピング、漫才や芝居など様々な店舗が存在していた。また店舗に設置された巨大看板がとても目立っていて観光地としての魅力を高めていた。大阪名物やスイーツなどがあふれており、グルメ激戦区であることが価格や品質の競争を促して商品の価値向上につながっていると感じた。二つの店舗でたこ焼きを食べたが、どちらもおいしくそれぞれ個性的な味の種類があり、店舗ごとの工夫を体験することができて楽しかった。

その後アメリカ村へ行くとそこでは、ライブイベントが行われていた。それについて調べてみるとアメリカ村の会によって主催されている活動だとわかった。この活動は、若者が多く集まるまちであるアメリカ村が若者の活動を積極的にサポートするために行われているもので、まちの活性化にもつながっているようだ。最後の目的地であるあべのハルカスでは、大阪最大となる300メートルの高さにある展望台から大阪市内を一望することができた。展望台にはカフェがあり、景色を見ながら休むこともできた。展望台以外にも美術館やホテル、百貨店など施設が充実しているので、訪れた人が一日楽しめるようになっていた。

今回のゼミ研修旅行では、多くの人を集めている要因やそのために行われている工夫や努力を自らの目で見ることができて良い経験となった。また、グループで活動したことでより仲が深まり、チームワークを養うことができた。